

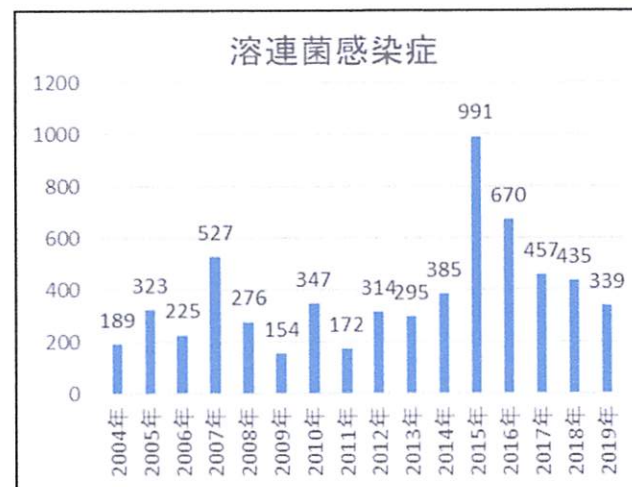
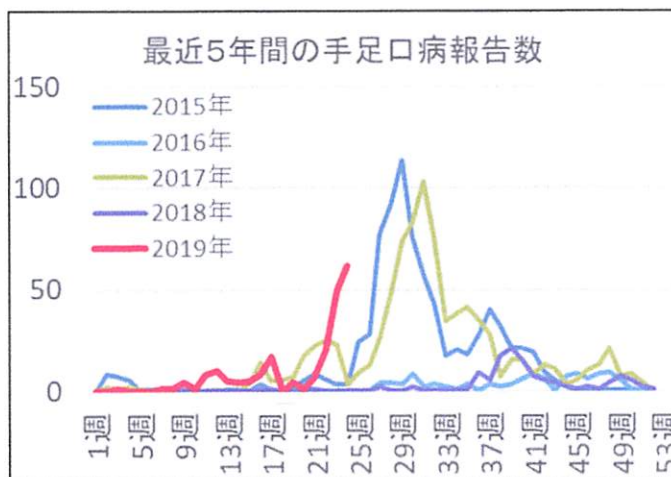
週間感染症情報

2019年24週 2019年6月10日より2019年6月16日まで

麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	1
ムンプス(おたふくかぜ)	
百日咳	
溶連菌感染症	23
手足口病	62
ヘルパンギーナ	11
伝染性紅斑	2
感染性胃腸炎	33
ロタウイルス(再掲)	
便アデノウイルス(再掲)	2
突発性発疹	3
伝染性膿痂疹(とびひ)	3
ヘルペス性口内炎	
アデノウイルス感染症	4
RSウイルス感染症	
マイコプラズマ感染症	
ヒトメタニューモウイルス	
インフルエンザ(臨床診断含む)	
インフルエンザA	
インフルエンザB	

左下のグラフの様に、手足口病の報告がさらに増えています。発熱直後の受診時は咽頭発赤のみ、のちに口内疹が出てヘルパンギーナと診断、その後手足に発疹がでて手足口病と診断される例もあります。数日で解熱しますが、口内痛が強く食べれない場合もあります。解熱して食事がきちんと摂取できるようになれば、発疹が残っていても登園は可能です。症状が治まっても、ウイルスは数週間便に排泄されますので、年少児のクラスでの感染予防は困難です。保護者の感染例もありました。残り物は食べない、手洗いなど一般的な感染予防対策が大切です。溶連菌感染症の報告が続いています。右下のグラフの様に、2019年は24週までに339例と2018年の報告数に近づいています。発熱、倦怠感、咽頭痛などで発症、年長児や小学生に多いようです。周囲の感染状況が参考になります。アデノウイルス感染症との合併例もありました。

感染性胃腸炎は、アデノウイルス陽性例が2例ありました。また、腹痛・下痢・血便が持続する例で、病原性大腸菌026と病原性大腸菌0111陽性例がありました。幸いVT1・VT2陰性でした。感染源は不明です。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com> 変更になりました。)